

科目名	法学 I					単位	2.0
担当教員	早川 秋子						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	5306

●授業のテーマ
社会生活と法

●到達目標

法の基本的な考え方を理解する。身近な問題を法的に思考し、自主的に解決方法を見つけることができるようにしたい。
基本的な法の知識を身につける。

●学習内容(授業概要)

法学は、法学全般にわたっての体系的且つ総合的な基礎知識を養うことを目的とする科目です。社会生活における法の作用や役割を通して私たちの社会のルールを学ぶ。裁判員裁判が始まり、私たち一般人も目の前にいる被告人に死刑を求刑する可能性が出てきました。法とは、刑罰とは、裁判とは正確な知識を身につけることの重要性は増すばかりです。日常生活の中でいかなるルールが定められ、使われているかを確認してみよう。そしてそれが適正か、不足はないか自分自身で確かめてみよう。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. 「六法」の語源 法と規範・道徳・強制
2. 法の歴史 1 日本の固有法
3. 法の歴史 2 近代法の継受
4. 法の系統 大陸法と英米法
5. 法の体系 目的と価値基準・正義
6. 法の解釈と基準
7. 日本の裁判所 判例を学ぶ意義
8. 裁判へのアプローチ
9. 刑事法へのアプローチ 1 罪刑法定主義
10. 刑事法へのアプローチ 2 死刑制度の是非を考える
11. 民事法へのアプローチ 1 財産
12. 民事法へのアプローチ 2 家族
13. 社会法へのアプローチ 1 労働法
14. 社会法へのアプローチ 2 社会保障
15. まとめ 法とは

●準備学習・事後学習の内容

各回の講義のノートを見直して理解を積み重ねていくことが重要です。
分からないことがあれば、後回しにしないでその都度解決して行って下さい。

●成績評価方法・基準

筆記テスト 80% 講義中の発言（参画度） 20%

（講義中に小レポートを作成してもらうことがある）

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：ポケット六法（27年度版）、出版社：有斐閣、備考：手元があれば、旧版でも可

●参考文献／その他

講義の中で適宜紹介する

本格的に学びたい人は、竹下賢他編『入門法学』晃洋書房を勧める。

●履修上の注意

積極的に講義に参加する意欲を持って履修して下さい。